

議会だより

Vol.207



私の街こまつ

市議会HP
QRコード



2023.2

Contents

12月定例会……………	2
初日質疑……………	4
市政Q&A 代表質問・一般質問……	5
予算決算常任委員会総括質疑	14
常任委員会 審査報告……………	16
特別委員会 調査報告……………	18
議決結果……………	19

12月議会補正予算 13億3,279万円を可決



作品名「陽だまり」

小松市立高等学校芸術コース美術専攻 2年生 黒地 桃香 さん

12月 定例会

会期 11月28日～12月22日
11月28日 開会

市長提出議案

予算案 8件

条例案 8件

その他議案 5件

初日質疑(3人)

12月6日 代表質問(3人)

7日 一般質問(7人)

8日 一般質問(6人)

9日 各常任委員会(分科会)

12日 特別委員会

13日 予算決算常任委員会

総括質疑

各常任委員会(分科会)

20日 予算決算常任委員会

22日 閉会

市長提出追加議案 4件

議員提出議案 4件

※議案等の採決結果(P19参照)

条例案等をチェック

市長から提案のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。
(P16～18参照)

人事案件

小松市教育委員会委員

村井 啓介 氏(義仲町)

の任命に同意しました。

人権擁護委員

高島 登志子 氏(千代町)

水野 幸恵 氏(矢田野町)

宮崎 永次 氏(丸の内公園町)

の推薦に同意しました。

議員提出議案をチェック

議員から提出された議案(意見書)については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。(賛否はP19参照)

- 議案第8号 難病・長期慢性疾病対策の総合的な推進を求める意見書
- 議案第9号 子供たちの学びの環境の更なる充実を求める意見書
- 議案第10号 公共施設マネジメント推進に対する財政支援の拡充を求める意見書
- 議案第11号 国の負担で学校給食の無償化を求める意見書

本会議の討論

橋本議員から市長提出議案第79号に対し、反対討論がありました。

訃報

宮川 吉男議員 逝去



小松市議会議員 宮川 吉男氏(75歳)が令和4年11月2日に逝去されました。

宮川氏は、平成11年に小松市議会議員に初当選され、6期にわたり小松市勢の発展に尽くされました。その間、総務企画常任委員長、経済建設常任委員長、さらには、国際交流推進議員連盟会長や北陸新幹線建設促進議員連盟会長、小松市農業委員会委員等々、多様な分野の要職を歴任されました。平成29年には第51代小松市議会議長に就任され、幾多の重責を全うされました。

ここに、宮川氏の生前のご功績をたたえらるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P14～16参照)
主な提案内容を紹介します。

令和4年度12月補正予算

一般会計	補正額	11億6,616万円
特別会計	補正額	1,983万円
企業会計	補正額	1億4,680万円

合 計 補正額 13億3,279万円

一般会計の累計

532億6,129万円

全会計の累計

1,106億1,044万円

原油価格高騰対策 事業者支援費



【補正額】 2億2,000万円

【内 容】 市内事業所の電気料・燃料費で、令和4年4月～12月のうち6か月分の前年との増加額を1/2(補助率)し、3万円を控除した額を1事業所30万円まで支援します。

農業者物価高騰対策支援費



【補正額】 2,400万円

【内 容】 前年に比べて高騰した肥料価格に対し、国70%、県15%の支援に市10%を加え、合計95%を助成します。

おなかの赤ちゃん・ うまれた赤ちゃん給付金



【補正額】 1億円

【内 容】 市独自の5万円と合わせて子供1人あたり15万円を給付し、妊娠時から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施します。

送迎用バス安全装置導入費



【補正額】 1,040万円

【内 容】 こども園や保育所、小中学校の送迎用バスへの安全装置導入を支援し、子供の安全・安心対策の充実を図ります。

公民等連携推進費



【補正額】 450万円

【内 容】 民間企業や東京大学などの研究機関との連携により、先進技術を用いた新しい子育て支援モデル構築の共同研究に着手します。

公園施設リニューアル費



【補正額】 4,000万円

【内 容】 現在リニューアル整備中の小松運動公園ちびっこ広場の遊具について、第2期分を前倒して整備します。

浸水対策費（下水道）



【補正額】 1億4,800万円

(R5.6 債務負担 4億8,000万円)

【内 容】 九龍橋川排水機場における雨水ポンプの増設及び石橋川遊水地に係る導水路工事について、前倒して着手し、市内における治水対策を図ります。

幸八幡線整備費



【補正額】 9,000万円

【内 容】 幸八幡線について、令和5年春の供用開始を目指し、今年度末の完成に向けて工事を進めます。

本会議初日質疑

議案第71号 令和4年度小松市
一般会計補正予算(第8号)
補正額 2億6,400万円

会派自民



竹田良平 議員



動画でチェック

◆エネルギー価格高騰対策

Q エネルギー価格の高騰は事業者への影響も大きいですが、市の支援については。また、市内複数の事業所を有する場合の対応はどうなるか。さらにエネルギー価格の高騰はしばらく続くことが想定される。今後の事業者および家計への支援については。



A 市内に複数事業所を持つ場合は事業所ごとに支援を実施。

支援内容は、電気料と燃料費の上昇分を1事業所当たり最大30万円まで。家計への支援策については、今年度住民税非課税世帯等1世帯当たり5万円の給付金支援を行っている。また、消費喚起によって中小事業者を応援するために、小松市プレミアム付商品券を販売している。今後、国・県が行う支

援や物価高騰等の状況を踏まえ、必要な支援策を検討していきたい。

◆こまつ宿泊応援割

Q 6月から制度開始となったが、これまでの宿泊者数および石川県民の利用割合については。

また、長い歴史を持つ温泉地である粟津温泉の旅館・ホテルの利用者増につながる取組となっているか。粟津温泉内でのこまつ宿泊応援割の宿泊者数については。



A 利用者数38、279名のうち石川県民の利用は58・6%。また、粟津温泉エリアの利用は全体の約96%となっている。(11/21時点)今回の宿泊応援割を契機に、粟津温泉を利用された県内外の方が市内観光地や粟津温泉の良さを知って頂き、今後よりピーターとして訪れて頂けるよう必要な支援を市として検討していく。

◆小松市の農業支援



Q 国際的な肥料価格高騰の現状をうけた市の対応については。また、小松市内では8月の大雨により農業も大きな被害を受けた。一刻も早



い復旧が望まれる中で、大雨による農業被害状況と肥料価格高騰対策支援費を含めた農業復旧への支援については。



A 国・県の肥料高騰対策に市が10%を上乗せし、肥料価格高騰分の95%を支援。8月豪雨により農業用水路等で223か所の被害があり、120か所の応急復旧工事が完了した。来春の耕作前までに復旧完了を目指していきたいと考えている。

自民党こまつ



円地仁志 議員



動画でチェック

◆原油価格高騰対策事業者支援について



Q 制度の内容。



A 6か月分の電気料・燃料費の前年同期比分の差額の2分の1、1事業所当たり最大30万円を支援。補助金額で3万円以下は対象外。



Q 積算根拠。



A 電力分約1億6,400万円、燃料費分約5,200万円。



Q 小規模事業者が対象にならない場合が多く想定されるが、小規模事業者に対する考え方は。



A 家庭でも電気料等の負担は増加しており、控除額設定についてご理解いただきたい。プレミアム付商品券を発行し、消費喚起による支援を実施。今後の国・県の動向を見極め、改めて支援策を検討する際は、今回対象とならなかった事業者に対しても考慮したい。



Q 近隣の自治体では、一律に支給しているところもある。事業者間で不公平感が出ないよう説明の上、実施し、2億2千万円の予算を使い切ってもらいたい。



A 執行状況を見極め、制度変更等も必要であれば検討していく。

無会派



橋本米子 議員



動画でチェック

◆原油価格高騰対策事業者支援費



Q 対象事業者はどの分野の事業者か、総数と内訳数を問う。



A 対象は全業種、個人事業主も含めて約5,500事業所が対象、申請は約4,500件を見込んでいる。



Q 控除額が1事業所3万円となっている。支援金額の考え方は。



A エネルギー価格高騰の影響が特に大きい製造業等に大きな金額を交付するため、控除額を設定している。

代表質問 会派自民 灰田 昌典（はいだまさのり）議員

一括質問

宮橋市長にとって2回目の本格的 予算であるが、その基本的な考えは



動画で
チェック

◆令和5年度予算編成について

Q その基本的な考えと特別枠の具体策を問う。

A ビジョンの目標を具現化する施策や誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な社会の実現に向けた施策への配分を基本とし、特別枠は新幹線開業による交流人口拡大、産業創生による人口増加、子育て支援の充実の3項目。

Q 事務事業の見直しは。

A 引き続き点検・最適化を行うとともに職員働き方改革の視点をプラスして行っている。

◆8月4日の豪雨災害の対策を図れ

Q 梯川水系緊急治水プロジェクトの方向性を問う。

A プロジェクトでは8月豪雨と同規模の洪水に対し氾濫防止、被害の軽減を図られる内容で、国・県・市で一体となって住民の安心確保に向けて取り組んでいく。

◆小松空港周辺開発に期待する

Q 安宅新地区産業団地の近隣の企業など企業誘致の見通しを問う。

A 現在、企業からの引き合いは15社あり、製造業以外の業種も含め希望を伺っている。

Q 北國銀行のアーリーナ構想について。

A 民設民営でのアーリーナ構想はぜひ進めたい。空港とその周辺も含め、新しい産業創出、都市機能集積、交流拠点化を目指す取組が必要。

Q 第2滑走路建設について国防上や民間空港の観点から市長の見解を問う。

A 現状滑走路での利用拡大や増設の必要性等を整理して議論すべきという方針の下、周辺住民への配慮が必要な重要案件であると考えている。

◆新産業団地造成を早急に

Q 早急な具体的候補地と花坂地区の現状を問う。

A 様々な業種をバランスよく誘致できるよう作業を進めている。花坂地区は新幹線開業までに用地取得完了を目指している。

◆北陸新幹線開業に向けて

Q 開業まで1年半、市内外へ機運の高まりを問う。

A 市民がわくわくするような機運の醸成を最優先に図っていききたい。またそのマインドを市外県外へと広げ誘客効果を図っていききたい。

◆北電複合ビルの建設延期

Q 公立小松大学大学院、サテライトオフィスの方向性は。

A 延期に伴い計画やスケジュール変更、代替施設の活用を予定。

Q 市内の宿泊施設、コンベンション施設不足への対策は。

A 次の産業団地の計画を進め、多彩な企業誘致による産業基盤の強化等により都市機能の強化につなげていきたい。



◆里山振興大杉谷地区の再生

Q 旧波佐谷小学校について地元からの要望など跡地活用の市の考え方は。

A 地元から地域活性化を担う施設として要望されており、民間企業から広く地域活性化に資する事業提案を募集したいと考えている。

◆学校給食費の無償化について

Q 財源は市独自だけでなく国・県からも。

A 国や県でも学校給食無償化が検討されているが、市独自でも重要な子育て支援策として、小学校への拡大をしっかりと検討する。

◆小松市町内会の行政事務連絡費について

Q 制度を見直すべきだと思いが。

A 町内会長の負担軽減のため、地域課題の解決に向けてともに取組を進め、制度の見直しは今後の検討課題としたい。

◆松陽中、稚松小の改築を早急に

Q 現在の状況は。

A 松陽中は既存校舎を活かしつつ防音校舎棟の新築を、稚松小は施設整備を検討するために総合調査を実施予定。

代表質問 自民党こまつ

川崎 順次(かわさきじゅんじ) 議員

一括質問

小松空港周辺に企業誘致・アリーナ建設が最優先

◆令和5年度予算編成について

Q 財政の見通しは。新型コロナウイルス感染症や不透明な世界情勢、原油価格及び物価高騰など需要増加も懸念されるが。

A 歳入はコロナ前の水準に戻り増加見込みである。歳出は議員ご指摘の影響が懸念されるが、開業まで1年を切った北陸新幹線小松駅開業関連に大幅な予算を配分したい。

Q 北陸新幹線小松駅開業について、本市にとって歴史的にも重要な年になるが、具体的にどのような立案を考えているのか。

A 市長がトップのプロジェクトチームを発足させ、首都圏等でのPR活動、また3月にはカウントダウンイベントも実施していく。

Q 市長の新しい小松をつくる55の実現、具体策は。55の政策と(仮称)2040年ビジョンの具体的内容は。

A 学校給食無償化の対象拡大、未来型図書館の候補地決定と具体的な計画づくりなどを行う。ビジョンは、「小松を明るく、にぎやかに」をテーマに、空港や新幹線駅といった都市機能や産業力などの本市の強みを発揮することで、持続可能な成長とまちのにぎやかさを生み出す好循環のまちづくりを進める。

Q 小松駅前北電ビルについて、公立小松大学大学院、サテライトオフィス等入る予定が、今年になって完成を1年余り延ばしてほしいとなった。本市としては新幹線開業を見据えて判断していく必要があるのではないか。



動画でチェック

A 駅東の最重要な土地であることから、いつまでも遊休地とすることはできないと考えている。1年以内をめどに協議を進めていきたい。

◆小松、台湾友好について

Q 彰化市との友好の現状は。

A それぞれの市長就任時に祝意のメッセージを送り、友好を確認している。

Q 来春に、エバー航空のデイリー運航が復活する。同航空が運営するローレルホテルをぜひ誘致できないか。

A 空港周辺の状況や課題を整理しながら協議を進めたい。

Q ローレルホテル誘致により小松空港周辺安宅新産業団地に企業誘致も大事。

A 都市機能の強化、拡充につなげていけるよう、産業団地の整備や企業誘致に積極的に取り組んでいきたい。

Q 北國銀行によるアリーナの建設の誘致は民間・知事・市長と一緒に協議し、すばらしいものにしてほしい。

A 課題を整理しながら、しっかりと後押しし、協議を進めていきたい。

Q 第2滑走路について防衛局長は必要性を感じないと表明。

A まずは、現滑走路の利用拡大や増設の必要性について整理が必要という立場。



◆高規格道路、小松白川連絡道路について

Q 今後の経済産業の発展、緊急代替路線として必要。

A 南加賀地域と飛騨地域を結ぶ重要な広域幹線道路と捉えている。

◆eスポーツの取組について

Q 今後の市の対応は。

A まずは出張体験会で関心や理解を広げていきたい。

◆市民病院の看護師対策は

Q 公立小松大学との連携は。

A 実習生の受入れ、大学講義への医師等派遣、職員募集交流会などで連携している。

Q 勤務体制の見直しは。

A 多職種からなる働き方改革委員会を年6回開催し、院内全体で改善に取り組んでいる。

Q 給与体系の見直しは。

A 地方公務員法や人事院勧告の基準を超えない範囲ではあるが、特殊勤務手当の新設や支給対象の拡大を行っている。

北陸新幹線大阪延伸を確実に



動画で
チェック

◆北陸新幹線大阪延伸の確実な着工を！

Q 11月25日に大阪で行われた北陸新幹線整備促進シンポジウムには京都府知事が欠席された。京都府内の環境アセスメントが遅れがちと聞いており、12月3日の新聞報道によれば、「大阪延伸着工ずれ込みへ」となっていた。大阪までの開通は、北陸三県の発展がかかっている。大阪延伸に向けた心意気を伺う。

A 北陸新幹線は、大阪まで全線開通することにより、整備効果が最大限に発揮されるものである。敦賀以西は、2024年春の敦賀開業頃に着工できるか不透明な状況と聞いている。沿線地域の意見を踏まえた迅速かつ丁寧な地元調整を行い、用地や設計の準備などできることから前に進めるなど、あらゆる手段を尽くして大阪までの全線整備を図ることが大切と考えている。

沿線住民の長年の悲願である大阪までの全線開業が一日も早く実現されるようあらゆる機会を捉え、北陸3県をはじめとする関係自治体と連携を密にして強く働きかけていきたい。

◆梯川治水計画について

Q 8月の梯川氾濫による治水計画の前倒しだと思いが、木場潟を中心とした「田んぼ」を忘れないでほしい。今回の水害被害は過去と

は違い多くの影響を及ぼした。対策が偏らないようにお願いしたい。

A 国、県において、木場潟の事前排水の実施・体制構築を計画している。また、梯川逆水門において、国の水門ゲート高不足対応により前川排水機場のポンプ停止が解消される見込みと聞いている。県では、今江町において前川河川改修を計画的・継続的に実施している。市としては、引き続き前川の流下能力向上のため、前川河川改修の整備促進を県に要望していききたい。

◆こまつ観光物産ネットワークについて

Q 基本的に物産を売る仕事であり、独立採算制にすべきと考える。

A 収益性のある事業の物産販売について、小松の地場産品・物産の振興、PRという公益的な性格も有している。現在、今後の事業経営に関するプロジェクトチームを立ち上げて魅力的なショップの設置、経営改善に向けた事業計画の検討を重ねていると聞いている。今後とも、自主財源確保、自主的な運営に向けて、市

として支援していきたい。

◆マイナンバーカードの普及について

Q 普及状況と8月の水害時における支払い等に利用されたのかを聞く。

A 小松市の交付率は53・4%で、若干全国平均を上回っており、国内の公金受け取り口座の登録者数は21・5%。現状の低い登録率、準備や説明の複雑化等を鑑みて、今回の災害時には活用までには至らなかった。今後とも国の動向を見極めつつ、有効活用できるよう対応を進めていきたい。

◆小松空港周辺、特に浮柳方面の松くい虫被害の対処を！

Q 土地所有者とも協議し、小松空港の玄関口、また景観保全の立場からも、伐採処理をしてもらいたい。

A 松くい虫被害を受けた松の早期伐採や松枯れに強い抵抗性クロマツなどの植樹を、管理者である近畿中部防衛局に要望するとともに、市としても連携して取り組んでいきたい。





竹田 良平（ただけりょうへい）議員

一括質問

動画でチェック

木場潟の魅力向上、婚活支援の取組、こども園等での医療的ケア児受入れ



◆木場潟の魅力向上

Q 今後の整備についてどう進めていくか。また、公園の魅力

をさらに高めるためイベントでの活用や民間企業の参入・連携についてどう進めていくか。

A 足湯やカフェが楽しめる里山交流ハウスなど3施設を整備し、令和5年春の供用開始予定。今後は施設を活用し子供から大人まで楽しめる

体験学習プログラム等を開催し、指定管理など民間のノウハウも取り入れる。



木場潟公園から望む白山

◆少子化・婚活支援の取組

Q 少子化の一因として、婚姻数の減少がある。結婚を望む方々へ市の婚活支援への取組および

婚活支援を行う団体との連携については。

A 市では出会いの場で求められる内容をテーマとした婚活関連セミナーを主催。また、こまつNPOセンターと連携しており、センター主催イベントでは約340組のカップルが成立。

◆こども園などでの医療的ケア児受入れ

Q 受入れに際しては、こどもに合わせた備品の新調など配慮が必要となる。先日行われた私立こども園等の施設長との意見交換会でも要望の声が出ていたが、市の対応については。

A 医療的ケア児支援のための検討部会を設置し、保護者からの要望の把握などを行っている。また、国の医療的ケア児保育支援事業として看護師の配置等に1施設当たり529万円の予算を計上している。



岡山 晃宏（おかやまあきひろ）議員

一括質問

動画でチェック

長期療養や障がいをお持ちの方への支援について



◆長期療養や障がいをお持ちの方への支援について

Q 小児がんの治療により、これまで接種した予防接種の効果が消失した場合の再接種に対して全額補助をしようか。

A 本市では、令和4年4月から、再接種1回当たり3千円助成を開始。現時点の申請等はないが、種類により助成額の拡大を検討し、負担の軽減を図っていく。

Q 障がいや長期療養を必要とするお子さんを持つご家庭の支援について。

A 通所サービス等の利用支援、医療的ケア児受入れのためのこども園と小学校への看護師配置など、保護者の就業支援を行っている。

◆小松サン・アビリティーズの大規模改修について

Q 体調管理が難しい障がい者にとって夏季・冬季の利用は厳しい場合がある。今回の大規模改修の内容とスケジュールは。

A 空調設備、内装建具、照明設備、屋上、屋根等改修を見込んでおり、来年度、設計予定。改修

規模や利用ニーズ等を踏まえ、具体的な改修スケジュールを定めていく。

◆休耕田・耕作放棄地の活用について

Q 農家の減少によって休耕田、耕作放棄地が問題になっている。新たな担い手がこの土地を活用し農業を始めるときの補助制度は。

A 休耕田の管理は、農地の維持管理費の補助対象で、国・県・市が協調し支援。

Q 圃場の大区画化等の圃場整備事業が進められており、現在、林・下栗津地区で事業を計画中で、休耕田や耕作放棄地の解消につながっている。オーナー制度や就農支援、地権者と利用者とのマッチングなどにより、交流人口や就農者の拡大につながる取組は。

A 本市では、休耕田解消のため農地を探す農業者とのマッチングを行っている。

さらに今年度は、3年間休耕田であった白山田町の圃場に試験的に1haの作付を行っており、来年度は6haに拡大を予定している。



東 浩一（ひがしこういち）議員

一括質問

動画でチェック

小松市の農業、観光資源について



◆小松市が取り組む施策、農業、観光資源

Q CO₂排出ゼロへの取組。

A 削減目標は数値の見える化を図りたい。また国のV2Hの設置補助は機器に50%、工事費に100%の補助があり、この補助に上乗せする補助制度を検討している。

Q 新公共交通の小松版Maasについて。

A デマンド型交通で予約を入れて、指定された時間に指定された場所へ送迎する松東地区乗合タクシーの予約方法も、電話による予約に加えアプリによる予約が可能になるように進めていく。

Q 空き家取壊し補助金30万円の見直しについて。

A 老朽で危険な空き家の解体を推進するため、近隣自治体の解体補助限度額なども参考に、今後検討していきたい。

Q 災害対策、対応に対する取組。

A 中山間地は浸水想定区域が示されておらず、令和5年は想定を見直し、かすみがわ津上川など11河川も対象のハザードマップを作成予定で、全世帯に周知を図っていく。

Q スマート化の支援について。

A JA小松市や民間企業の導入検証を通じて農業者の理解を図り、農業者がスムーズにICT機器を取り入れられるよう連携し取組を支援していきたい。

Q 農産物ブランド化、出口戦略。

A 人・環境・知見に着目し、ストーリーもブランド化することで、新たな消費者や新規就労者の獲得を、JA・生産者・県等と連携していきたい。

Q 2件の日本遺産について。

A 文化財保存活用長期計画策定のため、文化財の保存・保全を地域の方々とヒアリングを行っている。

Q 尾小屋鉱山資料館について。

A 県に資料館の再整備を要望しており、調整を進めている。

Q 大倉岳高原の通年活用と里山活性化について。

A 南加賀のウインタースポーツの拠点で大きなポテンシャルを秘めており、自然・文化・産業の保存、活用で価値を高めていきたい。



吉田 寛治（よしだ かんじ）議員

一括質問

動画でチェック

新しい市民と行政との関係について



◆ボランティアと行政との関係について

Q これからは少子高齢化や異常気象が進むことが予想され行政もボランティアや民間の力がますます必要になってくる。防災士、保護司や民生委員の団体の負担は増えていく中、行政とボランティアや市民団体との新しい関係づくりが必要。

A 行政と相互に補い合うよきパートナーとして、日頃から対話を通じた合意づくりのプロセスを図っておくことが大切であり、そうしたことを通じて行政とボランティア等との連携、協働の形がよりよいものになっていくと考えている。

◆未来型図書館への取組について

Q 私が4年前に市議に立候補する時の大きな公約であった新しい図書館の建設が、宮橋市長のもと、実現に向かって市民参加型のつながらるミーティングや市民の公開の

もとの基本構想策定委員会など多方面で準備が行われているのは大変感慨深いものがある。しかし、図書館建設への動きを知る市民が少ないのも事実。少しでも多くの市民に未来型図書館への取組について知ってもらうことが必要。

A これまでも対話とコミュニケーションを大切にしながらまちづくりを進めており、未来型図書館づくりは市民と一緒に取り組む市政の象徴、まちづくりの進め方のルールモデルになると考えている。そのためには、いかに対話のムーブメントを巻き起こしていくかが重要であると考えている。

今後も市民一人一人が未来型図書館づくりを自分事として捉え、小松市の未来を語り合い、共に実現していくため、新たな対話と活動の場、（仮称）リビングラボを立ち上げ、開館後も市民と共につくる体制づくりに取り組む。



南藤 陽一（ななとう よういち）議員

一括質問

動画でチェック

コロナ禍からの回復に向けて



◆「地域協議会」の今後の在り方について

Q コロナ禍で停滞している校下単位の事業の再開や、伝統文化の継承などを後押しする補助メニューを創設してはどうか。

A 今年度、地域の伝統行事などに活用できる次世代育成事業を新設。地域を明るくにぎやかにする活動に活用いただきたい。

Q 月津校下と日末校下が連携して取得した自家用有償旅客運送に対し、力強い後押しをお願いしたいと考えるが。

A 現在構築中の小松版Maasにおいて、公共交通による移動が難しい地域では、地域協議会等が主体となった自家用有償旅客運送も重要な移動手段と考えており、交通空白地域解消のためにも支援してまいりたい。

Q 地域協議会の今後の推進策とあり方について、運営役員に対する報奨金制度を求めるが。

A 運営体制構築事業を活用いただくなど、効果的で持続可能な地域の運営体制の実現を目指したい。

◆観光・飲食業者に対する支援策について

Q 感染が増えるのと冷え込む、観光や飲食業の今後の消費喚起策をどのように考えているか。

A 本市宿泊割は、終了後、全国旅行支援の状況等を踏まえ検討。また、コロナの感染状況や物価高状況を踏まえ、プレミアム付商品券事業などを検討したい。

Q 経営基盤の強化を図るコンサルティング費用や、国の補助金申請の代行費用を助成する制度を設けてはいかがか。

A 国、県、小松商工会議所において相談所の設置等がされており、今後も関係機関と連携し必要に応じ支援を検討していく。

Q 粟津温泉交流広場の活用方法など、粟津温泉のにぎわい創出に向けた取組について本市の見解を。

A 地元開催の集客イベントへの協力、魅力発信や様々な場面でのPRをしており、3月から実施のシェアサイクルのポートを粟津地区にも設置する。地域の方々と連携し地域づくりのお手伝い、プロモーション強化に努めたい。



高野 哲郎（たかの てつろう）議員

一括質問

動画でチェック

「東京で子供歌舞伎を!!」



◆民間企業との協定について

Q 小松市が民間企業や団体と協定を結ぶ最大のメリットは。協定を結ぶ流れと締結の基準は。

A 行政課題の解決や効果的なまちづくりの実現がメリットであり、本市の課題解決や市民サービス向上に資する事業に対し、双方の合意のもと、協議を進めることとなる。

Q どのような種類の協定締結の実績があるか。協定を結んだことによりどのような効果があったか。

A 包括連携協定13件、事業連携協定は、令和3年度以降20件等。

成果例は、損害保険会社からの令和4年8月大雨での損害状況についての調査結果提供である。

Q 連携はさらに進んでいくと考えるが、今後の進め方は。

A 今後とも公民連携により、市民サービスの向上やまちづくりの高度化について取り組んでいく。

◆新幹線小松駅開業へ向けた首都圏での活動について

Q 開業に向け、首都圏での「小松」の露出が最も重要である。これまでの首都圏での活動は。

A 市独自や県など広域連携による様々なプロモーションイベントを実施してきた。



新幹線効果を小松に

Q 「小松」のPRとし、「子供歌舞伎」は最もシンボリックである。県と連携し東京で子供歌舞伎を披露できれば、大きなPRとなる。今後の市の取組は。

A 南加賀全体で各地域の特色を生かしたプロモーションを県と共に考えていく。東京での子供歌舞伎上演は、今後、関係者と共に検討を重ねていく。



橋本 米子(はしもとよねこ)議員

一括質問

物価高騰から市民の暮らしを守る対策について



動画でチェック

◆国民健康保険税の均等割を18才まで拡大を

Q 令和3年度の18歳未満の子どもの減免実績について。

A 930世帯、1,248人で減免総額は1,697万1,300円。

Q 物価高は2年前よりもひどくなっている。子育て支援として市独自に18才まで拡大を求めたい。

A 今年度は学校給食費無償化の拡大や紙おむつ定期便など手厚く支援しており、子供たちの輝く未来都市こまつを目指していく。

◆小学校の学校給食無償化の実施について

Q 長年の学校給食無償化の要望が中学生で実現された。市長の思いは。

A 社会全体で子供たちの成長を支える環境をつくることが出来たことは意義深く素直に



小学生にも学校給食無償化を

喜びたい。

Q 子育て支援として小学生にも学校給食無償化を広げて頂きたい。

A 小学校への拡大は恒久的な政策として必ず実施するという強い信念をもって検討していきたい。

◆消費税緊急5%減税が効果的だ

Q 全ての物価を引き下げるために国に消費税減税を求めて頂きたい。

A 物価高騰対策として国では直接的な支援や持続可能な経済活動等の実現に取り組んでおり、市でも連携し適時適切に対応したい。

◆加齢性難聴者の補聴器購入の助成制度の創設について

Q 補聴器は高齢化社会の必需品であり、助成制度が必要と思ふ。

A 補助制度の創設については従前より国へ要望書が提出されており、国の制度として確立されることも注視しながら検討したい。

◆市民病院の特殊勤務手当

Q 結核患者と接する看護師には特殊勤務手当が支給されるが、看護師以外には支給されない。結核は空気感染するため、支給対象を結核病棟勤務の全スタッフに拡大してどうか。

A 人事院の規則を踏まえ、結核病棟勤務の薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等にも範囲を拡大し、支給する方法で調整したい。

Q 分娩手当は医師のみに支給されている。助産師にも支給を求める。

A 条例案件であり、新年度から実施できるよう調整していきたい。

Q オンコール手当は1回500円。待機の精神的負担も大きい為、支給額の増額を。

A 今後も現状のまま支給したい。

◆特別支援教育支援員について

Q 実態調査の結果、小松地区の配置が適正だった回答が38%にとどまっていることが分かった。配置の現状とその要因は。

A 配置状況は全体の91%。要因は障害への理解や専門性、児

助産師にも分娩手当を！

木下 裕介(きのしたひろゆき)議員

一問一答



動画でチェック

童らとの信頼関係など多様な業務内容を満たせないため。

Q 今後の対応は。

A 募集の継続と市教育委員会のネットワークを活用し、100%の配置となるよう努力する。

◆空とも絵本館元顧問松居直氏について

Q 11月にご逝去された。これまでの市への功績をたたえて、顕彰してどうか。

A 寄贈頂いた資料は大変貴重で、今後も市民団体と共に松居氏の功績を顕彰していきたい。

◆子宮頸がんワクチン

Q 来年度から9価ワクチンが定期接種化される。接種1回目、2価または4価で終了している方への対応は。

A 交互接種は医師と相談した上であれば実施可能と聞いている。

Q 子宮頸がんは性的接触により感染することから、男性にも接種費用助成を求める。

A ワクチンの有効性や必要性についての情報を収集し、国の動きなどを注視していきたい。



新田 寛之 につたひろき議員

一問一答

前川から日本海への排水路



動画でチェック

◆草野町地内にある農業用排水ポンプを活用

Q ポンプの能力や排水ルートについて。

A ポンプ能力は毎秒0・14m³で排水は直接日本海へ流れる。

Q 小松市内で、梯川以外で唯一日本海へ直接排水できるルートである。それを活用し、大雨の際の非常用排水ルートとして活用できないか。

A ポンプは当初、県営圃場整備事業において用水ポンプとして整備された。その後、地元の要望を受けて大雨時に農地の漏水被害を軽減することを目的として、日本海へ直接排水できるよう改造したもの。しかし、排水能力は毎秒0・14トンで前川排水機場の毎秒62トンと比べかなり能力に差があり効果は限定的と考え



前川左岸地区の排水の流れ(青色線)と、草野町地内にある農業用ポンプの排水ルート(赤色線)



吉村 範明 よしむらのりあき議員

一問一答

学校給食についてと新幹線開業後の観光戦略と交通アクセスについて



動画でチェック

◆学校教育での食育について

Q 子どもたちに食育をどのように行っているのか。

A 栄養教諭等による食に関する指導や外国の郷土料理を提供した食育など。

Q 学校での体験農業は。

A 特に5年生の社会科で、米作り、野菜作りについて学んでいる。

Q 体験を受けての授業や取組は。

A 学習成果を発表する場を設けるなどし、農業体験を重要な食育の機会として位置づけている。

◆給食の食材について

Q 米価が上がらない今、米飯割合について、他市の状況と本市の状況は。

A 各市により様々。本市は、2週間米飯7回、パン食3回。最近オーガニック給食が増えている。本市でもすべきだ。

A 安心安全で新鮮な地産地消を大事に、市内・県内産の食材を使用。オーガニック食材について学べる機会を考えていきたい。

◆黙食について

Q 給食時の会話を可能とする通知が文科省から出されたが本市の対応は。

A 今後も感染予防に努めながら、児童生徒の思いに配慮した給食の実施を学校に周知する。

◆本市の観光需要と動向について

Q 本市の観光の動向は。また宿泊旅行者はどの方面からか。

A 令和元年337万人、令和3年235万人。富山・福井、関西圏、中京圏からが半分以上を占める。

◆観光戦略について

Q 開業後の集客戦略は。

A 国内外、世界のまちとつながり新たな交流がたくさん生まれるよう、また交流拡大のチャンスに向けブランド力を高めるために新交流ビジョンを策定中である。

◆開業後の交通アクセスについて

Q 旅行者の本市への交通手段は。

A 関西・中京方面からは、自家用車、観光バス、特急列車が主。敦賀開業後は関西・中京からは乗換えになり不便だ。今後の交通網をどう考える。

A 在来線と新幹線のスムーズな接続や航空機の新規路線の開拓について、国や県と連携して取り組んでいきたい。



梅田 利和 うめだとしかず 議員

一問一答

「子どものむし歯予防対策推進事業」について



動画でチェック

◆フッ化物洗口のむし歯予防効果と必要性

Q フッ化物洗口した場合、むし歯が少ないとされているが。

A フッ化物洗口は、およそ4歳から中学校卒業まで継続することが推奨されており、その期間実施した場合、していない場合と比べると56・3%の予防効果があったと報告されている。また、県によると乳幼児健診を受診した母親についても、フッ化物洗口を一度もしたことのない人と比べ、その期間実施した人はむし歯が大幅に少なく、失った歯の本数も少ないと報告されている。

Q こども園におけるフッ化物洗口の普及は検討しているか。

A 来年度からこども園等での導入を検討しているが費用面の問題や保護者の理解が懸念されており、それらを検証した上で、まずは公立こども園と希望する私立のこども園にて普及を図っていき

Q こども園での普及が広がれば小中学校まで拡大する計画は。

A 実施の際には児童等の個々の体質を考慮することや安全性について本人や保護者に具体的な説明の上、同意を得て行うことが大切だと考えており、今後、歯科医師会など関係者と協議の場を持ちながら様々な視点から研究を進めていきたい。

Q 専門家である歯科医師会の協力をいただきながら普及することで将来的な健康寿命の延伸が期待されるが。

A 健康長寿・フレイル予防のため重要な3つの柱として「栄養（食と口腔機能）」「身体活動（運動）」「社会参加」が提唱されており、歯と口腔機能の健康は、生きていく上で大切な役割を担っていると考えている。幼少期から口腔ケアの体制を整えることで市民の口腔の健康保持・増進を図り、健康寿命の延伸につなげていくとともに家庭での理解と協力を求めながら普及を図っていききたい。



宮西 健吉 みやにしけんきち 議員

一問一答

板津校下に児童・運動公園を



動画でチェック

◆板津校下に児童公園又は運動公園を

Q 市民センターの概要について。

A 昭和59年5月に開館。集会施設、スポーツ施設、老人福祉施設、児童センターを有する複合施設である。

Q 北部児童センターの利用者数は。

A コロナ禍前のR元年度は4万8,701人。1日平均158人。

Q はつらつセンターの利用者数は。

A コロナ禍前のR元年度は1万8,404人で1日平均59名。

Q テニスコートの利用者数は。その内、中学生の利用者数は。

A R元年度は利用者数1,885名、うち中学生以下は742名。

Q テニスコートにクラックが入っているのでは。

A 使用に支障はないが、全コート内にクラックが生じている。

Q テニスコートを駐車場に整備。市民センターの南口を再整備することにより、はつらつセンター、北部児童センターの利用者数のアップにつながる。そこで板津地区体育館に隣接した場所に児童公園又は運動公園を設置しては。

A 板津地区体育館に隣接した場所が、利用者に魅力的で利便性の高い場所となるため、周辺の環境向上が必要。区域との調和を考え、公園の適地を検討していく。

◆明峰駅西側地区の宅地開発について

Q 本市の考え方、思いは。

A ーRいしかわ移管後の駅の利用者を増加させる取組として、明峰駅など駅周辺地域に居住し、働く場所の整備が必要。市街化区域への変更等課題はあるが、宅地開発、産業開発、体育施設等駅周辺での実現について検討していく。議員にも御協力いただき地元の機運を盛り上げ、地域住民と協議し、構想をつくり、可能性を検討していきたい。



表 靖二(おもてやすじ)議員

一問一答

動画でチェック

栗津駅自由通路等の完成の見込みについて



◆栗津駅周辺について

Q 栗津駅に関して、橋上自由通路及び駅西広場の完成については、いつ頃となる見込みか問う。

A 今年度基本設計、令和6年度春にI・Rいしかわへ移管

予定、令和7年度に工事着手し、令和8年度末完成に向け、計画整備を進めている。



令和8年度末に完成予定の栗津駅舎

Q 先般実施された駅東のラウンドアバウトの実証実験について。そのアンケート結果について問う。また、今後のラウンドアバウト整備についての予定を問う。

A アンケート結果では、6割の方が安全に感じたという結果であった。今年度中に実験の効果検証、令和5年度に改修の計画策定、令和7年度末に、

工事完成・供用開始を目指し進めていく。

◆栗津温泉周辺の道路整備について

Q 栗津温泉地区・校下は、温泉旅館の減少と共に、人口は10年間で約3,500人から約3千人に減少し、都市計画道路「島栗津線」は、永らく一部整備の状態となっている。社会资本整備を充実させ住環境の向上が必要と考えるが、見解を問う。また、一般の市道・水路等の整備についても市街化区域として相応して整備が必要と思うが見解を問う。

A 近年地域の優先度が変化しており、栗津地区も、通学路の安全対策のため、市道戸津井口線の側溝改良による路肩拡幅を優先的に実施している。今後は温泉街のにぎわい創出のため、栗津温泉地区の住民主体のまちづくりを支援していきたい。また、整備等について今後とも地域の御要望を踏まえ協議、検討していく。

予算決算常任委員会総括質疑

令和4年度12月補正予算

◆会派自民◆



竹田良平 委員



動画でチェック

◆企業誘致推進費

Q 企業誘致・起業支援・リモートワークの出来る環境の整備。これら3点を進めることが大事かと思うが、女性や若者の働く先の確保にはどう取り組むか。

A この3点は我々自身も同じ思いでしっかりと取り組んでいく。今年度、安宅新の産業団地の次の産業団地候補について適地調査を進めている。

◆観光交流センター運営準備費

Q 小松駅高架下の観光交流センターはどのような展示となるか。また、今回名称決定に際して市民投票が行われたが、市民の意向をどう反映していくか。

A 八日市地方遺跡の実物展示コーナーや大型LEDビジョンで本市歴史の情報発信等を行う。ご意見箱等を設置し、市民の声を聞くことが

できる体制をとっていきたい。



新田寛之 委員



動画でチェック

◆九龍橋川排水機場4号ポンプ増設費

Q 増設するポンプについて。

A 毎秒4・03m³の排水能力があり、令和6年度までの整備を予定している。

◆浸水対策事業費(石橋川排水区)

Q 整備内容について。

A 令和6年度までに導水路と遊水地を整備する。導水路の整備延長は650mで、幅9・4m、深さ90cmとなる。遊水地の面積は4・3ha、貯留量は4万3千400m³だが、将来的には17・5ha、6万3千m³までを計画している。

Q 今後、このような遊水地や排水機場、水利施設の整備計画はあるか。

A 雨水排水計画の検討結果に基づき検討していきたい。
Q 梯川水系緊急治水対策プロジェクトの内容について。

A 国、県、市が連携し、令和13年度までに集中して対策を実施することにより、令和4年8月豪雨と同規模の洪水であっても、氾濫を防止し浸水被害の軽減を図る取組。

Q 梯川逆水門のゲート高不足解消の内容について。

A 前川の水位を下げるため、前川排水機場から梯川へ排水しているが、梯川の水位が上がると梯川逆水門のゲートから水が前川側へこぼれるようになる。そうすると、前川排水機場のポンプを動かしても前川の水位が下がらない。これがゲート高不足ということになる。ゲートを2・6m上げることににより、梯川の水が前川にこぼれてくるのを遅らせることにつながる。



ゲート高不足解消が計画される梯川逆水門

A 3月の襲名披露巡業開催に伴う負担金、お練り開催にかかる経費、PR費など。

Q 市川團十郎さんの小松市での定期公演化に向けて市長の思いは。

A 県と市が連携することで実現できるのではないかと考えており、鋭意取り組んでまいりたい。

Q これまでの本市と先代の團十郎市川家の交流について。

A 勸進帳小松800年祭開催をきっかけに市民交流として始まり今年で36年目を迎える。昭和63年には成松会が結成され、成田屋と小松市をつなぐ重要な窓口として支えていただいている。

Q これまでの市川家との交流が今日の本市の歌舞伎文化の振興に大きく寄与している。そこで、これから本市と市川家がどのように関わっていくかが、20年後、30年後、新たに進化した形で本市の歌舞伎文化を花開かせる大きな原動力となり得ると考える。この点、市長の考えは。

A 先代の團十郎丈に感謝しながら、13代市川團十郎丈と市川翠扇さんとこれからの新しい交流を築いていき、またさらに若い世代へと、関係をより強く、長く続いていけるようにしたい。

◆ 浸水対策費

Q 8月4日の大雨災害を境に治水対策の考え方は大きく変化した

と考えている。また、梯川下流部、漁港の周辺の浸水被害は相当のタイムラグがあったが、今後の対策は。

A 漁港周辺の排水機場は、県宮のかんがい排水事業として整備されたもの。当時から比べ、住宅地が増えたことにより内水として影響を受けていることも事実だと考えているので、今後県と協議し、どういう形で整備していくか検討していきたい。

◆無会派◆



木下裕介 委員



動画でチェック

◆ サテライトオフィス立地推進費について

Q 市40%、県10%の50%助成だが、条件により県の対象経費とならないケースも考えられる。県の助成対象から外れた場合でも、市独自で50%にできないか。

A 今後、県の助成対象にならない場合の助成率の高上げを検討していく。



橋本米子 委員



動画でチェック

◆ 送迎用バス安全装置導入費

Q 事故を受けての対応は。

A こども園等に注意喚起したほかチェック体制の点検や実地調査を実施した。

Q バスの見落としを防止する装備内容と義務化はいつからか。

A 座席確認ブザーやセンサー等で、次の4月より施行予定。

Q 今回の事故を教訓として、保育士の安全に対する取組は。

A 園等に必要な情報を発信するとともに連絡を密にして安全対策を徹底していきたい。



片山瞬次郎 委員



動画でチェック

◆ 幸八幡線整備費

Q 県道大野八幡線の連結は。

A 県道はつけ替えし、幸八幡線に接続して国道8号につながるルートに切り替わる。

Q 憩いの森からの市道八幡温泉若杉線との交差の安全対策は。

A もともと勾配のある坂道であるため、交差点の手前に勾配の緩い区間を設け、スリップ対策も検討している。

◆自民党こまつ◆



円地仁志 委員



動画でチェック

◆ 歌舞伎のまちこまつ推進費

Q 事業内容は。

常任委員会 審査報告

予算決算

委員長 高野 哲郎
副委員長 川崎 順次
全議員所属

議案第71号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第8号)について

■新型コロナウイルス感染症経済対策費(20,000千円)

12月27日までの「泊まろう!こまつ宿泊応援割」に対応するため、増額補正するものです。積極的な利用促進を図るよう求める意見がありました。

■原油価格高騰対策事業者支援費(220,000千円)

電気・ガス等のエネルギー価格高騰の影響を大きく受ける市内事業者への支援費です。支援額が前年同期比で3万円を超える事業所が対象で上限額は30万円です。事業所間で不公平感が出ないよう、丁寧な説明を求めるとともに柔軟に対応するよう求める意見がありました。

■農業者物価高騰対策支援費(24,000千円)

農業肥料価格高騰に対する農業者への支援費です。小松市に住所を有し、国の肥料価格高騰対策事業対象者に補助されます。物価上昇の影響を緩和し、事業継続支援につなげていくとのこと。

議案第72号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第9号)について

■一般会計における職員人件費(15,056千円)

支給見込みと実績の差に加え、人事院勧告による月例給の引き上げ、一般職の勤勉手当の引き上げ等にかかる費用です。業務に対し職員数が足りていないのではないかと危惧する意見や、職員を増やすことも含め思い切った改革を望む意見がありました。

■戸籍情報管理システム運営費(5,700千円)

戸籍法改正に伴い、国と地方自治体のシステムを連携するための費用です。連携により、市民・職員双方の事務手続きが軽減されます。情報管理について、運用の際にはより一層注意しながら行っていくという意見がありました。

■おなかの赤ちゃん給付金費・うまれた赤ちゃん給付金費(99,500千円)

妊娠から出産・子育てまでの相談支援と経済支援を一体として実施するものです。子供一人当たりの給付金は、妊娠届出時に5万円、出生届出後に5万円、令和4年4月以降の出産に遡って支援します。市独自の5万円は継続して給付し、合計15万円が給付されるということです。

■小学校施設維持管理費(58,700千円)、中学校施設維持管理費(37,600千円)

小中学校の電気料・ガス料の高騰による不足額を補正するものです。

LED化されていない学校は、電気料高騰対策としても、早期のLED化を求めました。

■歌舞伎のまちこまつ推進費(11,000千円)

十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業及びお練り実施に係る費用です。お練りの詳細は検討中とのことですが、お練りを間近で見学できるようにコースなどに工夫を求める意見がありました。また、「歌舞伎のまちこまつ」の全国発信を求めました。

■体育施設整備費(1,000千円)

市内スポーツ施設の最適化に向けた改修計画策定に係る調査費です。熱中症対策をはじめとする安全安心への取組、老朽化への対応等、施設の機能アップに向けた調査を行うものです。冷暖房導入等についても調査研究するよう求めるとともに、計画策定に期待する意見がありました。

■企業誘致推進費(37,000千円)、サテライトオフィス立地推進費(20,000千円)

企業誘致推進費は、市内製造業企業2社の工場増設に、サテライトオフィス立地推進費は、東京に本社がある企業2社の市内オフィス設置に伴うもので、交付予定に合わせ増額補正するものです。

■小松加賀斎場運営費負担金(1,957千円)、小松加賀衛生センター運営費負担金(1,790千円)

電力量料金の改定に伴い、小松加賀斎場で1.3倍、小松加賀衛生センターで1.4倍の値上げを見込み、増額補正するものです。電気料金は厳

しい状況が続くことが予想されるので、引き続き適切な対応を求める意見がありました。

議案第77号 令和4年度小松市下水道事業会計補正予算(第3号)について

■浸水対策事業費(148,000千円)

「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」のうち、市の取り組みである内水対策の「石橋川遊水地への導水路工事」と「九龍橋川雨水ポンプ増設工事」に係る工事費等です。令和4年8月豪雨と同規模の洪水に対しての氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図ることです。

議案第78号 令和4年度小松市国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号)について

人事院勧告に基づき、初任給及び若年層の俸給月額を引き上げ、勤勉手当を0.10か月分引き上げるため、増額補正するものです。

議案第81号 小松市社会福祉基金条例の一部を改正する条例について

昭和60年10月開設の小松サン・アビリティーズの改修を計画的に進めるにあたり、再編関連訓練移転等交付金を活用するための条例改正です。使途目的を明確にした適正な基金運用の徹底を望む意見がありました。

総務企画

委員長	新田 寛之
副委員長	二木 攻
委員	東 浩一
委員	吉 範明
委員	梅 利和
委員	円 仁志
委員	橋本 米子
委員	灰田 昌典

■議案第79号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

令和4年の人事院勧告による国家公務員の給与と改定に準じて市職員等の給与を改定するものです。

一部の委員からは、特別職等の給与と改定は人事院勧告制度の性格と異なるのではないかと反対する意見がありました。

■小松市・加賀市・能美市連携による北陸新幹線プロモーションの実施について

3市の持つ独自の地域資源の情報発信を首都圏で展開し、新幹線開業効果の向上を図るものです。

キャッチされやすい宣伝活動を期待する意見や、今回の広告媒体を地元でも活用し、更なる気運の醸成を望む意見がありました。

■第4回いしかわ並行在来線金沢以西延伸対策検討会について

金沢以西延伸の並行在来線経営計画について審議され、了承されたと報告を受けました。

IRいしかわの収益向上につながる取組にも柔軟に対応してほしいという意見がありました。

■第3回小松空港中期ビジョン策定検討委員会について

検討委員会で議論された主な内容について報告を受けました。

ツアアの商品化や飛行機の増便などを県等に働きかけて欲しいという意見や、第2滑走路の議論については、動向を注視しながら対応を求める意見がありました。

■「次世代高度技術の活用による地方創生に向けた連携協定」の締結について

事業者との連携協定を機に、中山間地域でのドローン飛行の実証実験を行い、地域活性化策を検討していくものです。

非常に良い取組で、防災面などいろいろな実証実験に取り組んでほしい、活用の実証に向けて十分調査を進めてほしいという意見がありました。

■土砂災害対応合同訓練について

豪雨災害に備え、航空自衛隊と合同で、円滑な人命救助活動を確認するものです。

消防機関では大変高度な訓練を行っているっており、市民に安心感を与えるほか、消防分団への入団促進も含めて、より一層広報活動に力を入れてほしいという意見がありました。

福祉文教

委員長	杉林 憲治
副委員長	竹田 良平
委員	木下 裕介
委員	高野 哲郎
委員	出戸 清克
委員	宮西 健吉
委員	表 靖二

■議案第80号 ひとつものづくり科学館条例の一部を改正する条例について

よりよい教育施設への転換、また今後の北陸新幹線延伸を控え「いつ来ても・何度でも楽しめる」施設への転換をめざし、観覧料の一部を改定するものです。

令和5年4月から、3Dスタジオは現行のままの観覧料ですが、体験展示ホール等の入場料の無料化及び年間パスポートの取扱いを変更するものです。新パスポートは現行のままの料金で、3Dスタジオを何度でも観られるパスポートとなります。体験教室は、参加料のみのわかりやすい料金形態に統一することです。

観覧料を無料化し、多くの方に来てもらえるようにすることは良い取り組みであり、2階にオープン予定のカフェも含め、今後引き続き、利用しやすく、多くの方が来館する

施設となる取組を期待する意見がありました。

■令和4年度第2回小松市地域密着型サービス運営部会の開催状況について

11月に開催された運営部会にて、地域密着型サービス事業者に係る指定取消を含む2件について報告し、了承を受けたものです。

地域密着型サービス事業者に係る指定取消については、夜間対応型訪問介護の1事業者に対し、運営指導・指導監査を実施した結果、不正行為を確認したため事業者の指定取消を行ったものとのことです。

夜間対応型訪問介護事業者は、市内ではこの1社のみであったとのことですが、利用されていた方は、ケアプランの作成段階で代替えサービスに切り替えて対応しているとのことです。

高齢者福祉に関して、認知症による徘徊行動等が認められる方へのGPSを利用した位置情報提供サービスがありますが、今後認知症高齢者や高齢者のみの世帯の増加が見込まれることから、高齢者の見守りサービスの拡充について検討してほしいとの意見が出されました。

経済建設

委員長		副委員長		委員	
南藤	陽一	岡山	晃宏	吉田	寛治
川崎	順次	片山	瞬次郎	吉本	慎太郎

【委員長の互選】 下記のとおり委員長が互選されました。
経済建設常任委員会委員長
南藤 陽一議員

国・県・市による「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」が取りまとめられました。梯川水系においては、国・県・市等が連携し、河道掘削、引提等の取組を集中的に実施し、洪水の氾濫を防止し、流域浸水被害の軽減を図るものです。

災害から数か月での迅速なプロジェクトの取りまとめを評価する意見や、1日も早い対策を期待する意見がありました。

■議案第89号 指定管理者の指定について

小松市観光交流センターの指定管理者を令和8年3月31日まで株式会社こまつ賑わいセンターに指定することです。

観光交流センターは、令和5年9月にブランドオープン予定で、愛称は「KOMATSU 九(NINE)」です。

■都市計画審議会について

市道城南松崎線を4車線化し交通混雑を解消するため、都市計画決定を行うものです。

さらに、「南末広地区の地区計画」により良好な住環境の形成のため、まちづくりのルールも決定されます。

市道城南松崎線の1日も早い早期着工・供用開始を期待する意見がありました。また、城南から村松間までだけでなく、村松以西の4車線化の調査検討を求める意見がありました。

■第2回梯川水系流域治水対策検討部会について

今後様々な競技での受賞者が増え、賞がさらに発展することを望む意見がありました。

■小松市プロスポーツ大賞について

本市出身の東北楽天イーグルスの島内宏明選手は、パシフィックリーグ打撃部門で最多安打者賞受賞等功績が顕著であり、昨年に引き続き「小松市プロスポーツ大賞」を授与することです。

■小松市さかさまバンクについて

さかさまバンクとは、空き家の購入や賃借の希望者を登録、市のHPに公開し、空き家の所有者や管理者とのマッチングを図る制度です。

利用希望者と所有者の双方向からのアクセスが可能となることから、利用増加に期待する意見や、名称や広報等工夫した周知を求める意見がありました。

特別委員会 調査報告

小松基地・空港対策特別委員会

委員長		副委員長		委員	
灰田	昌典	梅田	利和	新田	寛之
川崎	順次	二木	攻	片山	瞬次郎

■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点で小松基地における訓練計画はないとのこと。
訓練計画については、速やかに情報提供するよう求めました。

■第3回小松空港中期ビジョン策定検討委員会について

第3回小松空港中期ビジョン策定検討委員会で議論された内容について報告がありました。

小松空港の情勢として、国内線は全ての路線が通常運航しており、4月から10月までの利用者数については約60万人で、コロナ以前の令和元年度と比べて約34・5%減少しているとのこと。国際線は全便運休となっていますが、10月より国の水際対策が大きく緩和されたため、エバー航空より来春の夏ダイヤから、運航再開の方針が示されたとのこと。施設関係は第2回検討委員会の意見を受けて、県は国へ第2滑走路の必要

性に関する調査を実施するよう要望し、また、県独自で空港施設の配置案の検討などの基礎調査を進めております。

北陸新幹線敦賀延伸に向けた県の対応については、若者世代の航空機利用を促すとともに、リピーター対策の強化によるビジネス客等の航空利用者の囲い込み、福井県への空港利便性周知、羽田乗継の周知強化・利用促進による新規利用者の獲得を促進するなど、県の対応案が示されたとのこと。

小松空港利用維持に向けて、敦賀延伸後に見込まれる北陸新幹線との価格差や時間差について把握しておく必要があることや、県検討委員会での第2滑走路の議論やアリーナ構想に関する動きについて、重ねて確認を求める意見が出されました。

■航空プラザについて

計画的に改修を行っている空調設備の更新工事について報告がありました。利用者の安全を確保するため、令和5年1月10日から2月19日まで臨時休館すること、広報こまつ1月号・ホームページ・館内掲示などで周知に努めるとのこと。

公共施設マネジメント 検討特別委員会

委員長	表 靖二
副委員長	東 浩一
委員	竹田 良平
〃	吉田 寛治
〃	南藤 陽一
〃	木下 裕介
〃	吉村 範明

「芦城公園内及び周辺の主な公共施設」について

図書館は、昭和56年に建設、建設費は3億5,784万円です。10月に、委員会で現地の状況確認をしました。
公会堂は、昭和34年に建設、建設費は1億8千万円です。小松市まちづくり市民財団が令和6年度まで、指定管理者となっているとのことです。

旧波佐谷小学校の利活用に関するプロポーザルについて

波佐谷小学校は、令和3年4月より空き校舎となっており、令和5年1月5日からプロポーザルの公募が開始されるとのことです。

地域産業に資する提案等民間の力を活かす幅広い提案を募るよう求める意見や契約後の事業者へのフォローアップ等を求める意見がありました。更に、里山環境と農林業が根付いている土地柄等を考慮し、事業を進めてほしいとの意見がありました。

土地は市で所有したまま有償で貸付、建物は事業終了後に事業者が取り壊し、

譲渡の際は責務を引き継ぐとのことですが、事業が継続できない場合等も想定し、対応等を調査検討するよう求める意見や審査の際は、可能な範囲で財務状況や実績等の確認を求める意見がありました。
無償譲渡は、議決事項で、議案の提出まで、今回の意見等も踏まえ、より良い活用が図られるよう検討されることを期待するものです。

全国の廃校の利活用について

全国の廃校の新たな活用手法とし、同一公共団体による転用、譲渡や貸付け等民間の活用、解体撤去、一般売却等があり、事例を交え説明がありました。

公共施設マネジメントに関する国の支援制度について

国は、「公共施設等適正管理推進事業債」を創設し、財政支援を行っています。委員より、国に対し、制度の更なる拡充を求める意見がありました。

本件については、意見書提出の議論がなされ、「公共施設マネジメント推進に対する財政支援の拡充を求める意見書」を国へ提出すべきと、全委員による意見の一致をみたものです。

「こまつドームのアリーナ」について

令和4年11月に実施されたこまつドームのプロポーザルの審査会において提案内容の詳細な調査を求める意見があり、提案者への質問や確認等、調査を進めているとのことです。

◆12月定例会の議決結果◆

■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案 (8件)	第71号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第8号)	可決
	第72号 令和4年度小松市一般会計補正予算(第9号)	〃
	第73号 令和4年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
	第74号 令和4年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
	第75号 令和4年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	〃
	第76号 令和4年度小松市水道事業会計補正予算(第3号)	〃
	第77号 令和4年度小松市下水道事業会計補正予算(第3号)	〃
	第78号 令和4年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号)	〃
条例案 (7件)	第80号 ひととものづくり科学館条例の一部を改正する条例について	〃
	第81号 小松市社会福祉基金条例の一部を改正する条例について	〃
	第82号 小松市埋蔵文化財センター条例の一部を改正する条例について	〃
	第83号 小松市立西保自然教室条例の一部を改正する条例について	〃
	第84号 小松市文化施設等における共通入館券の発行に関する条例の一部を改正する条例について	〃
	第85号 タウンオアシス条例を廃止する条例について	〃
	第86号 小松市土地開発基金条例を廃止する条例について	〃

	議案名	議決結果
その他 議案 (8件)	第87号 財産の処分について	可決
	第88号 指定管理者の指定について	〃
	第89号 指定管理者の指定について	〃
	第90号 指定管理者の指定について	〃
	第91号 専決処分の承認を求めることについて	承認
	第92号 工事請負契約について	可決
	第93号 工事請負契約について	〃
	第94号 教育委員会委員の任命について	同意
議員提出 議案 (4件)	第8号 難病・長期慢性疾病対策の総合的な推進を求める意見書	可決
	第9号 子供たちの学びの環境の更なる充実を求める意見書	〃
	第10号 公共施設マネジメント推進に対する財政支援の拡充を求める意見書	〃
	第11号 国の負担で学校給食の無償化を求める意見書	〃
その他案件 (1件)	諮問 第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意

■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議 案 名	会派自民										自民党こまつ			こまつの未来			無会派			議決結果																		
	灰田	杉林	表	高野	梅田	新田	南藤	東	岡山	竹田	宮西	川崎	円地	吉村	二木	出戸	吉田	橋本	木下		片山																	
	昌典	憲治	靖二	哲郎	利和	寛之	陽一	浩一	晃宏	良平	健吉	順次	仁志	範明	攻	清克	寛治	米子	裕介		瞬次郎																	
条例案 (1件)	第79号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について																				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

※吉本慎太郎議長、片山瞬次郎副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。吉本慎太郎議長は採決に加わりません。

予定 3月定例会の日程

※傍聴可能なもののみ記載。日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】議会事務局 ☎0761-24-8138

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21	22	23	24	25
	本会議(開会)		議会運営委員会			
26	27	28	3/1	2	3	4
		代表質問	一般質問	一般質問	常任委員会(分科会)	
5	6	7	8	9	10	11
	常任委員会(分科会)	常任委員会(分科会) 特別委員会(小松基地・空港対策)	特別委員会(公共施設マネジメント検討)		予算決算常任委員会 総括質疑 常任委員会(分科会)	
12	13	14	15	16	17	18
			予算決算 常任委員会	議会運営委員会	本会議(閉会)	

2月20日には
市長による提案説明、
2月28日・3月1・2日には
市政に対する一般質問、
3月10日には
予算案への質疑、
3月17日には
委員長報告等が
行われます。

小松市政について、
活発な議論が行われます
のでぜひご覧ください。

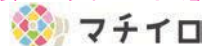


小松市イメージキャラクター
カブッキー

本会議の様子などをご覧ください!

- ☆議会傍聴
- ☆テレビ小松
- ☆ホームページ(議会生中継、録画配信)

議会だよりがスマホで読める!



マチイロダウンロードはこちらから▶

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 東 浩一
副委員長 岡山 晃宏
委員 竹田 良平
吉田 寛治
木下 裕介
吉村 範明



令和4年12月定例会では物価高騰対策、流域治水対策をはじめ
様々なテーマについて多くの議員が質疑質問をし、活発な議論が行
われました。

議会だよりもそのやり取りを出来るだけ掲載したく工夫を凝らして
しております。

議会は議論をする場所でありますので、多くの活発な議論がある
ことは、議会だより編集委員会としましても、うれしい悩みであり
ます。ただ紙面に限りがありますので、すべてを掲載することは難しいです。各
議員の質疑質問は録画配信されていますので、そちらも是非ご覧頂きたいと思
います。

これからも皆様に興味を持ってご覧頂けるような議会だよりを目指してまいり
ます。(岡山 晃宏)

働くみなさまを応援します!

〈ろうきん〉は自治体と提携し、
低利な融資をご用意しております!

無担保

勤労者小口資金融資制度
勤労者育児・介護休業資金融資制度

詳しくは、北陸ろうきん 小松支店 TEL 0761-22-3342まで



議会だより有料広告の募集

を行なっています。

○ 1型 46mm×88mm

○ 2型 46mm×176mm

ご希望の方は小松市議会事務局まで
お問い合わせください。



不動産鑑定士 中小企業診断士 税理士 弁護士 弁護士 司法書士 土地家屋調査士
澤矢豊伸 竹内広幸 谷口勇一 杉本昌之 中西祐一 三輪哲也 山崎 豊
TEL.0761-21-1122 TEL.0761-22-9990 TEL.0761-76-5503 TEL.0761-24-3633 TEL.0761-256-5413 TEL.0761-43-0848 TEL.0761-20-3175



◆法律◆多重債務◆税金◆登記
◆年金◆会社設立◆相続 等
のご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

サポートネット 専門家による無料相談会

日時●2月11日(土) 3月18日(土) ●4月8日(土) ●5月13日(土) 9時~11時30分

会場●小松商工会議所